

# 越中一宮

高瀬神社社報

第15号

平成19年9月13日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 栄氏



平成十九年という新しい年を迎えてから早いもので八カ月の月日が過ぎ行きました。七月の雨模様が一転、八月に入って猛暑日が続く、特別に暑い夏となりました。そのような中、お盆を迎え、墓所や御霊舎の清掃といった諸準備をはじめ、朝夕のお参りにも汗を流しました。我が家のお盆は十四日夕刻に「御精霊様（祖先の御霊）」をお迎えして、十七日夕刻にお送りします。その間、朝夕に墓参し、御霊舎を拝礼します。普通は『〇家乃墓』という具合に、一家に墓碑一基だと思いますが、藤井家の墓所はご先祖お一人ずつ墓碑があるため、かなりの数の墓碑があります。朝夕のお参りの際には、この全ての墓前にお水をお供えし、夕方は、灯火も

捧げます。私の小さい頃から祖母・父母・兄弟など家族とともに参りに行き、お供えしてある古いお水を捨てる役目、新しいお水を注ぐ役目、ロウソクに火をつける役目などそれぞれ分担してお参りしています。現在は息子や孫がその役目を担ってくれていますが、一人でお参りに行くとなるとそれは大変な作業になります。ご先祖様方は、毎年このような墓参の様子をご覧になっておられ、藤井家の伝統や仕来りをちゃんと守っているかどうか確認されているように思います。ご先祖様に感謝することはもちろんのこと、心配をかけないようにと心を新たにすることもお盆の大切な意義です。

今から二十年前に母がこの世

を去り、六年前に父が逝き、今でも亡き父母に聞いておけばよかったと思うことがあります。父逝去の直後は、先行きの不安から眠ることができず、一夜を明かしたことが度々ありました。そのようなときは御霊舎の前に座り、父母はじめ祖父母の御霊に相談しました。父母の声は聞こえませんが、私の心の中に解決方法が自然と生れてきます。これは御霊舎に鎮まる先祖代々世々の親たち親族家族の御霊たちが私の心の中に問題の対処法や日々の生き方を教えて下さるのだと思います。

自分が今在ることを当然のようには思ひ、父母や祖先に感謝をしない人が祖霊を祀り、祭祀を行なったとしてもご先祖様は喜ばれないし、まして教えを希うてもその回答は得られないはずで。私が謙虚であると言っているわけではありませんが、祖霊から知恵を授けてもらえる人は謙虚であり、他人の親切や心中を理解できる思いやりのある人だと思います。謙虚さや思い

やり、親切などを忘れて祖霊との対話は無理なことだと思うのです。

ある作家が「文化や歴史は人間に尽きる。私たちの記憶こそが歴史の細部を形づくり、その集積が国民や国家の歴史となる。私は今も後悔することがある。なぜ両親からもっと自分の話を聞かなかったのだろうか……。」すなわち、自分の生まれた頃のことや当時の家族の詳細にわたる生活の様子などを知らないということは「歴史を持たないのと同じ。」といっています。自分の歴史は祖先の歴史とつながっており、祖先の心を理解することが祖霊と対話できるひとつの方法だと思えます。

私は子どもの頃、何のためにお正月とお盆があるのだろうと真剣に考えたことがあります。祖父や父は口癖のように「お前は神主家の後継者だから、祖先からの伝承を習うことが大切なのだ。」と言い、友達が高岡や富山や金沢へ遊びに行くからと

誘いに来て、許してもらえませんでした。遊びたい盛り、正月やお盆の手伝いはもとより、春秋の氏神社の祭礼にも行かれました。毎年様々な思いをしながら年中行事を繰り返し、喜寿を迎えたこの年まで我が家の伝統を守ってくることが出来ました。若かりし頃は祖父や父を恨みましたが、現在は当時の祖父や父の気持ちがよく理解できます。今、自分の人生を振り返ってみて思うことは、祖父母や父母が折に触れて教えてくれたことのありがたさです。心から感謝しています。

昨今の風潮としてお正月やお盆にレジャーに出かける人たちが増えていきます。旅行がてら帰省して、お墓参りをする方々もおられますが、本来のお盆休みの意味が薄らいでいることは悲しいことです。ご先祖様との絆が切れてしまっている証拠ではないでしょうか。

時間がいくら経とうともご先祖様は子孫のことを見守っておられるものです。日常の生活に

おいて多少の不平不満はあるでしょうが、今在ること、何とか生活できていることをご先祖様に感謝しなければなりません。わが子を思う親と同様に子孫の行く末を思わないご先祖様はおられないと思います。目に見えないことや快樂ばかりにとらわれずに、ご先祖様の姿や教えを心の目でしっかりと見て、感じるこ

とが重要です。

心が豊かになれば、自ずと祖霊と向き合う気持ちになってきます。祖霊にわが人生を問い、心にその答えを得ることの出来る人こそ幸せをしつかりと掴むことが出来る人だと思えます。

九月はお彼岸です。お盆にお参りが出来ず、ご先祖様に失礼をしたと反省している人は、この機会に十分

にお参りをして、今後、更なるご加護をお願いしましょう。



## 「竹田恒泰氏御参拝」 「総代会総会開催」



第五十回を記念した講演会で、竹田氏が「皇室の弥栄」と題して皇位継承問題などに触れながら講演をされました。

二百名を越える出席者からは、皇室のありがたさが良くわかったとの声が寄せられ、とても好評でした。

去る八月五日、「富山県神社総代会砺波支部第五十回総会」にご出席のため来県された旧皇族で慶應義塾大学講師の竹田恒泰氏が御参拝されました。

当日は拝殿での国家隆昌祈願祭に続き、午前十時より参集殿で総会が開催され、その後、



# 祭事暦

## 夏越の大祓

去る六月三十日午後三時より「夏越の大祓」が斎行されました。氏子・崇敬者約一五〇名の参列者は半年間の罪・穢けがれを「人形」に託し、「茅舟」に納め大水路に流しました。また、祓はらいをうけた後、次々に「茅の輪」をくぐり心身を清め、残りの半年を清々しく過ごすようお祈りしました。



## 高瀬稲荷社例祭

末社の「高瀬稲荷社」の例祭が、去る六月三十日午前十時より斎行されました。当日はあいにくの梅雨の空模様とあって、参集殿テラスにお



## 人形感謝祭

「第八回人形感謝祭」が去る七月十五日斎行されました。

いて、講員約三十名の参列のもと斎行されました。

祭典に引き続き、御本殿で商売繁盛祈願祭が執り行われ、講員一同の商売繁盛・家内安全が祈願されました。



特設の納所には子供の成長とともに古くなったり、不要になった「日本人形」や「ぬいぐるみ」など、約二〇〇〇体が持ち込まれ、「大麻」と「切麻」により祓はらい清められました。感謝の言葉と誠心を捧げました。

## 平成二十年 初詣奉仕巫女募集

【条件】  
十五歳～二十二歳位迄の  
高校生・学生

【期間】  
一月一日～三日 八十名

【受付】  
十一月一日より

【認証式・説明会】  
十二月二十三日（予定）

※詳細はお問い合わせ下さい



# 参拜日誌抄

(平成十九年六月～八月) (敬称略)

## 「六月」

五日

「環境の日」ゴミ拾いマラソン  
東海良広

八日

(株)越路ガーデン 西尾廣士  
以下十五名

九日

氏子清掃奉仕(村総出)

十三日

神社庁砺波支部役員 九名

立正俊成会(清掃奉仕)

十五日

神社庁砺波支部例会 十六名

十六日

戊亥会(小松市)(還暦奉仕)

十七日

百円玉で日本の政治を変える会  
代表 松本信枝

十九日

いきいき見て歩きサークル

二十三日

高瀬遺跡菖蒲まつり実行委員会  
十三名

神道政治連盟会長 宮崎義敬

神社本庁渉外部長 稲 貴夫

二十五日

三重県神社庁鈴鹿支部

支部長 鈴木信彦 以下一八七名

二十九日

タカハタ工業(株) 八〇名

三十日

商売繁盛祈願祭

## 「七月」

一日

交通安全母の会東般若支部

二日

神社庁砺波支部役員会 九名

中越パッケージ(株)砺波工場

中越パッケージ(株)富山工場

中越パッケージ(株)福光工場

川田工業(株) 五十名

建設業労働災害防止協会

砺波分会 六十名

(社)富山県労働基準協会

砺波支部 九十名

林業木材製造業

労働災害防止協会砺波分会

三日

松本建設(株)(砺波市) 十二名

七日

砺波高校野球部 三十五名

十二日

福野高校野球部 三十二名

十三日

立正俊成会(清掃奉仕)

十四日

本折日吉神社山王会

十五日

宮司 橋田正嗣 以下四十二名

十六日

宮司 鈴木 閑 以下十二名

十八日

神社青年全国協議会

十八日

副会長 上田正宙

二十日

監事 春木秀紀

## 「八月」

三日

大木白山神社奉賛会

五日

宮司 高尾宗嗣 以下十五名

二十日

第五十回富山県神社総代会

九日

神社総代会砺波支部

九日

「国家隆昌祈願祭」

二十六日

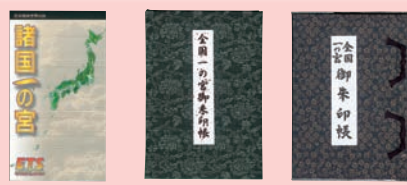
となみ野一〇〇キロ徒歩の旅  
一五〇名

二十六日

昭和六拾年の会(輪島市) 六名

## 「一ノ宮めぐり」を してみませんか?

「一ノ宮」は全国に約一〇〇社あります。平安時代、各地域で古くから崇敬を集め、神位も高く、由緒正しき神社が「一ノ宮」としてさだめられました。越中国一ノ宮は高瀬神社であります。「御朱印」はこのような神社を参拝し、各神社にお祀りされている大神様の御神徳をいただくためのものです。時間をかけて自分流に全国の一ノ宮を巡ってみてはいかがでしょうか。きっと大神様から尊い御力をいただけることでしょう。



御朱印帳(大) 三〇〇〇円  
御朱印帳(小) 一〇〇〇円  
ガイドブック 一二〇〇円

社のにぎわい

第七回人形展

「人形感謝祭」にあわせ七月十四日より十六日まで「第七回人形展」第一期一会「人形といけばなの出会い」が開催されました。

いけばな草月流富山県支部「秀抱会」により会場が装飾され、人形に華をそえました。木彫や和紙・ガラスなどをもちいた作家十七名の創作人形一〇〇点余りが展示され、それぞれの人形が持つ雰囲気が見られるの目を樂しませ、心に潤いを与えました。



▽出品作家

- 牛島辰馬 (庄)
- 阿部達也 (富)
- 八木裕子 (富)
- 池田由美子 (富)
- 荒井恒雄 (井)
- 飛驒山静恵 (八)
- 松本昌子 (利)
- 福島まゆみ (金)
- 安達陽子 (砥)
- 田中孝明 (井)
- 坪川瀬都子 (氷)
- 野村幸子 (井)
- 谷口淳一 (滑)
- サバロウ (富)
- 鷺塚貴紀 (小)
- 小幡祐嗣 (富)
- 嶋田数男 (庄)

▽装飾

- 草月流富山県支部「秀抱会」
  - 会長 梅崎秀鈴 (庄川)
- ※順不同、敬称略



ま

フライダール情報

平成十九年七月八日、午前十時から午後五時まで高瀬神社協力会主催夏のフライダールフェアが開催されました。

今回初めて午前十時と午後二時の二回・神前式セミナー及び神殿を使った模擬結婚式を行いました。その結果、午前・午後ともに予想をうわまる沢山の方々に「来場いただき、高瀬神社での神前結婚式の魅力を感じていただけたと思います。」

そして、午後三時から模擬披露宴を行い、神社での披露宴を体験して頂きました。



く、両親や御家族と共に高瀬神社の結婚式&披露宴を体感して頂きました。

家族間の会話が希薄になってきていると言われていますが、高瀬神社ではフライダールの相談にこられたお二人に、是非お父様・お母様として祖父母の方にも話をしたり、相談をしたりして頂きたいとお願いをしております。新郎新婦のお二人が幸せな結婚が出来るのは、お二人を愛情込めて育てられた御両親・御家族があること、そしてその御家族皆様への感謝の気持ち、家族の絆を大切にしたいと伝えております。

以前、とても年代ものの打掛で結婚式をされた方がありました。それは見事な打掛で、レンタル品とは明らかに違いが判るものでした。その打掛は新郎家のお祖母様の婚礼衣装とのことで、新郎家に遊びに行かれた新婦様はその衣装を見て「ぜひこの衣装を着たい」と希望されたと新郎のお母様から聞かせて頂きました。お母様は「こんな古いものを着なくても……」と言われながらも大変嬉しそうでした。

これからも家族の絆を大切に、ぬくもりの感じられる結婚式&披露宴のご提案をさせていただきます。

### 平成二十年「初詣献灯」の御案内

当社では「初詣献灯」を実施致しております。

本行事は、初詣期間中に正参道両側に「提灯」を掲げ、来る新年が更なる輝かしい一年となるよう、尚一層の御神徳を授けて戴くことを願ひ奉納するものです。

一、「初詣献灯」は正月七日まで、境内等参拝者道筋に献灯いたします。

一、「初詣献灯」は、それぞれ正面に希望の芳名（会社・氏名等）を記入いたします。

一、献灯者の家内安全・商売繁盛の祈願祭を奉仕いたします。

一、献灯初穂料は、一基につき 金壹萬円御志納願います。

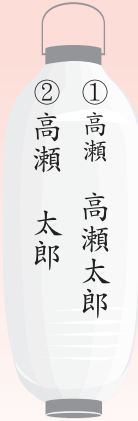
一、申込締切 十一月十五日までにお申込下さい。  
※記載芳名 例（約八文字）

#### 一、会社

① 南砺市 (株)高瀬  
② 高瀬産業株式会社

#### 二、個人

① 高瀬 高瀬太郎  
② 高瀬 太郎



### 御案内

#### 「七五三詣」

本年は次の通りです

○七歳（女子） 平成十三年生

○五歳（男子） 平成十五年生

○三歳（男女） 平成十七年生

※十月一日より十一月末日まで、毎日午前八時三〇分より午後四時三〇分まで随時受付しております。

祭典・結婚式等でご奉仕できない時間帯もありますので、社務所までお問い合わせ下さい。

尚、十一月二十三日は新嘗祭斎行のため午後一時より受付いたします。

#### 「第三十四回献茶式」

十月二十八日(日)

午前十時斎行

表千家流 ご奉仕

(呈茶席・一席)

午前八時三十分～午後三時

(主催)

高瀬神社献茶奉賛会

(薄茶席・点心席)

表千家流 橋爪孝仙社中

(前茶席)

鳳凰煎茶礼式 橋爪孝仙社中

(茶券)

一枚三千円（短冊・点心付）

#### 「となみ野」〇〇キ徒歩の旅

砺波地方を徒歩で巡る

平成十九年八月九日参拝

となみ青年

会議所主催の

「となみ野一〇

〇キ徒歩の旅」

が八月八日から十二日まで

の四泊五日の

行程で開催され

九日に当社へ立ち寄りました。

権宮司より参拝作法の説明と社

頭講話があり、「大神様のご加

護を戴いて完歩してください」と

と激励しました。

休憩の後、九十八名の小学生の参加者は元気に出発しました。

#### 編集後記

去る七月十六日に発生いたしました「新潟県中越沖地震」におきまして、被災されました方々に、衷心よりお見舞い申し上げます。

この夏は地震のほか記録的な猛暑に見舞われ、自然の恐ろしさをつくづく痛感いたしました。

本年も余すところ三ヶ月となりましたが、氏子崇敬者の皆様におかれましては、大神様のご加護のもと、益々お健やかに過ごさうとさせていただきます。



# 時を超えて結びあう

## 私だけの ロイヤルウェディング 《雅美》

挙式・衣裳・着付・写真付  
**660,000円**

人生の通過儀礼のなかで  
最も華やかで美しい装いの十二単



きらめき  
**30名様パック「煌」**  
**921,000円**

挙式料・介添・会場費・カラーコーアイト料・音響・記念帳  
招待状・席順表・料理・飲み物・ケーキ・装花一式・ヘアドレス  
写真(2ポーズ、アルバム2冊) 衣裳(紋付一式、白無垢一式)  
美粧(着付一式) 追加料金 お一人様 18,000円

かがやき  
**50名様パック「輝」**  
**1,298,000円**

挙式料・介添・会場費・カラーコーアイト料・司会・音響・記念帳  
招待状・席順表・料理・飲み物・ケーキ・装花一式・ヘアドレス  
写真(2ポーズ、アルバム2冊) 衣裳(紋付一式、白無垢一式)  
美粧(着付一式) 追加料金 お一人様 18,000円

発行日 平成十九年九月十三日

発行所

越中一宮 高瀬神社社務所

〒933-7020 富山県砺波市高瀬二九一

TEL 07633870932  
FAX 07633873004

編集人 浦

泰宏

印刷所 牧印刷株式会社

越中一宮高瀬神社  
七五三宮参り



当神社で貸衣裳、着付美容、  
写真を準備しておりますので、  
ご利用下さい。  
九月二十九日(土)・三十  
日(日)午後一時から午後  
五時まで貸衣裳、美容、写  
真の内見会をいたしますので、  
どうぞお越し下さい。お待  
ちいたしております。



### 愛を カタチに



富山県砺波市宮丸123-1  
**石釜パン 大 樹**  
福井雅敏  
TEL・FAX(0763)32-3966